

平成目安箱への回答 No.23 抗凝血薬服用カードについて

担当主管課：スポーツ健康課健康増進係（内線 345）

要望等内容	回答
<p>【抗凝血薬服用カード】を提案します。</p> <p>動脈系血栓予防に「アスピリン」（バイアスピリン）を処方され、服用している患者です。周知の通り、これは血液をサラサラにして、血液を固まりにくくする薬ですが、逆に血管に傷を負ったとき止血作用が弱くなり、薬の作用が強いほど出血リスクは高くなります。ただ単に出血とは言っても、例えば「脳出血」等であれば生命に直接関わってしまう。出血が止まりにくくなるため、手術前であれば予め休薬しておく必要があり、大手術の前には薬の服用を一定期間中止して置く必要がある、と伺っています。</p> <p>個人的なことではなく「抗凝血薬」を服用している皆さんに共通している事ですが、病気や怪我をした場合、「抗凝血薬を服用している事」を口頭で伝える事が出来れば問題ない訳ですが、緊急を要する手術であっても、例えば交通事故等で喋る事が出来ない状況であったり、意識不明の状態では口頭説明が出来ない訳です。患者が「抗凝血薬服用者」である事は、（掛かり付け病院の担当医以外は）分からない訳です。</p> <p>そこで【抗凝血薬】（抗凝固剤や抗血小板剤などアスピリン、シロスタゾール、ワファリンなど）の服用者に（名刺大の大きさのポケットブルな）カードの所持を提案します。（お薬手帳を持ち歩けばと言う意見もありますが、大きさ・嵩・重さなど携帯性がカードに比して劣ります。また、身体から離れては所持の意味が薄れてしまいます。）この為、薬剤師会（薬局）から【抗凝血薬服用カード】の発行を提案する次第です。ちなみに、兵庫県北播磨地区で【抗凝血薬服用カード】を発行しています。その「カード」のコピーを、この提案書に添付できないのは残念ですが、ご要望により別途メールに添付して送信する事は可能です。その「抗凝血薬服用カード」によると、一面には『あなたの服用中のお薬は、血液を固まりにくくしてくれています。検査・手術・歯を抜く時等に注意が必要となります。他のお薬の影響を受けることがあります。診察・検査・手術や調剤を受ける時には、医師・歯科医師・薬剤師に必ずこのカードを見せて下さい』北播磨保険医療福祉連絡協議会、医師会・歯科医師会・薬剤師会と記してあり、他面には『患者氏名と服用中の抗凝血薬名、主治医、施設名（病院名）電話番号、薬局名と住所、電話番号が記載され、北播磨地区（小野市・加東市・西脇市・三木市）のそれぞれの医師会、歯科医師会、薬剤師会を記載』しています。</p> <p>上記の【抗凝血薬服用カード】は北播磨地区で発行の一例ですが、その「カード」は薬剤師会を構成している【薬局】で発行しています。しかしながら、当地に於いても医師会、歯科医師会や薬局などとの合意が必要と思います。</p> <p>つきましては、大磯町に於いても合意形成の為、医師会や歯科医師会・薬剤師会などとの進捗打合せをお願いする次第です。真に勝手な申し出ですが、宜しく願い申し上げます。</p> <p>尚、同様主旨を、平塚中郡薬剤師会へ手紙郵送、平塚市民病院へネット便、で提案しました。</p>	<p>町政につきましては日頃よりご理解、ご協力いただきありがとうございます。</p> <p>さて、ご提案のありました抗凝血薬服用カードについてですが、町では、既に同じような目的で、「救急あんしんカード」というカードを作成し配布しております。これは、外出先での急な事故や体調不良の際に必要な本人確認作業や緊急時にご家族等への連絡や適切な処置を円滑にするためのカードで、本人氏名や血液型、緊急連絡先の記入欄に加え、「伝えたい心配ごとなど」の欄を設けておりますので、この欄に抗凝血薬服用の旨を記入していただき、お財布等の外出時に常に持ち歩く物の中に入れていただくことで、万一の際にもご安心していただけることと思います。</p> <p>「救急あんしんカード」は、町ホームページからダウンロードできるほか、町保健センターの福祉課で配布しております。</p> <p>また、自宅での緊急時に活用できる「救急医療情報キット」というセットも福祉課で配布しております。これは、連絡先や持病、服用している薬などの必要事項を記入したものを容器に入れ、冷蔵庫の中にキットを保管し、キットが収納されている冷蔵庫の扉外側、または、玄関ドア内側の右上にステッカーを貼付することにより、救急活動が必要な場合に駆け付けた救急隊に情報が伝わる仕組みとなっておりますので、あわせてご活用いただければと思います。</p> <p>この度は、貴重なご意見をありがとうございました。</p>

目安箱受付日：H27. 1. 19

掲示日：H27. 2. 5